

製品名: CD274 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82137**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2b
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	33.3kDa

抗原情報

遺伝子名	CD274
別名	B7-H; B7H1; PDL1; PD-L1; PDCD1L1; PDCD1LG1
遺伝子 ID	29126.0
SwissProt ID	Q9NZQ7
免疫原	大腸菌で発現したヒト CD274 (AA: 24-153) の精製された組み換え断片。

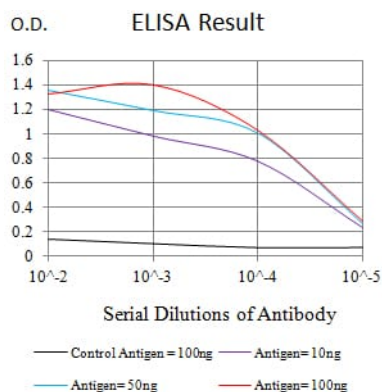
背景

この遺伝子は、T細胞やB細胞などの造血細胞および非造血細胞、ならびに様々な腫瘍細胞によって発現される免疫抑制受容体リガンドをコードしている。コードされているタンパク質は、免疫グロブリンV様ドメインおよびC様ドメインを有するI型膜貫通タンパク

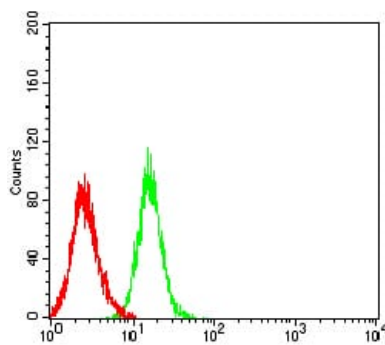
質である。このリガンドとその受容体との相互作用により、T細胞の活性化およびサイトカイン産生が阻害される。正常組織の感染または炎症の際に、この相互作用は免疫応答の恒常性を維持することで自己免疫を予防するために重要である。腫瘍微小環境では、この相互作用により細胞傷害性T細胞が不活性化され、腫瘍細胞に免疫逃避の機会が提供される。腫瘍細胞におけるこの遺伝子の発現は、大腸癌や腎細胞癌など、多くの種類のヒト悪性腫瘍の予後因子と考えられている。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じる。

研究分野

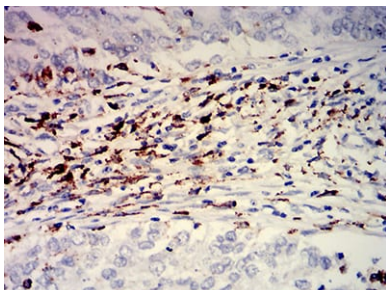
画像データ



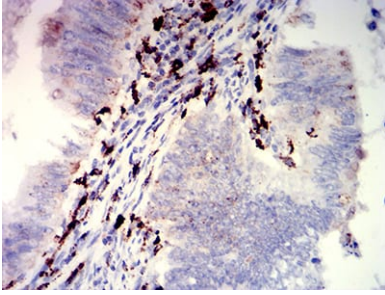
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



CD274 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HL-60 細胞のフローサイトメトリー分析。



DAB 染色による CD274 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト子宮頸癌組織の免疫組織化学分析。



DAB 染色による CD274 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト直腸癌組織の免疫組織化学分析。